

カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています。

過去のみどころはHPの2ページ目以降にあります。

春に咲く可憐な花ですが、寒い中もう咲いている個体がありました。



もう咲いているホトケノザ (シソ科)

# みどころ

兵庫県立三木山森林公園

## Mikiyama

令和2年12月上旬期



モチツツジ、ヤブコウジ、ホトケノザは園内各所で見られます。



透ける様な黄葉のヤブムラサキ(シソ科) ムラサキシキブと違い、葉や枝などに毛が生えています。この個体は、特に黄葉が美しいです。



ヤブコウジの実 (サクラソウ科) 常緑の小低木で、赤く熟す実が美しいです。



上池横のハクセキレイ (セキレイ科)



冬鳥のコガモが下池に来ています。

コガモの雄 (カモ科)



透ける様な黄葉のヤブムラサキの実



ウリカエデ (ムクロジ科) 樹皮がウリの果皮に似ていることから名前がつけました。



イロハモミジと比べて葉が大きいこと、鋸歯が細かく均一なことが特徴です。

オオモミジ (ムクロジ科)



トチノキの冬芽 (ムクロジ科) 芽鱗が樹脂でべとついています。



モチツツジの狂い咲き (ツツジ科) 季節を間違えて、冬によく咲きます。

クロスジフユエダシャクの雄と雌 (シャクガ科) もみじ谷などで雌を探して雄が飛び回っています。無翅の(翅の無い)雌は飛べません。フェロモンで雄を誘引するそうです。この蛾に係る昆虫研究グループ「チーム64」のメンバーのアドバイスに感謝します。



ツグミ (ヒタキ科) 冬鳥のツグミも三木山に戻ってきました。



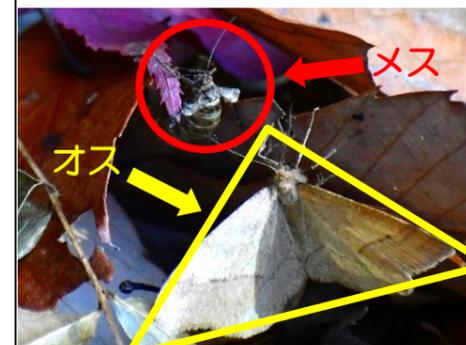
下池のバン (クイナ科) 三木山で住んでいるバンも元気です。



上池のオオバン (クイナ科) 中池にすることが多いですが、今回、上池に来ていました。



ススキ草原 (イネ科) ススキの穂が美しいです。



もみじ谷のクロスジフユエダシャク



交尾中のクロスジフユエダシャク (写真:「チーム64」提供)